

なかつか 亮



24年度決算 品川区は増収増益！活用可能な用地あり！

今こそ！特養ホームや保育園、公園 区民の暮らし応援の品川区を

24年度当初予算

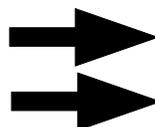
区民税 352億円

特別区交付金 330億円

24年度最終決算

375億円 (23億円増)

368億円 (38億円増)



他に、23年年度末不用額54億、24年度末不用額33億・最終補正70億基金積み増しの結果…

24年度決算

24年度予算

積立基金(区の貯金)543億円が**699**億円

活用可能な用地

(区資料より作製)

国有地 約2万7千㎡

①南品川4丁目 2375㎡

②小山2丁目 2万2244㎡

③小山2丁目 1465㎡

④上大崎3丁目 1163㎡

など

学校跡地2ヶ所

①旧第一日野小学校 7634㎡

②旧荏原第四中学校 8544㎡

区営住宅建替え3ヶ所4棟

西大井6丁目、南大井1丁目など

決算委員会が16日に閉会しました。区民生活は厳しいのに、なぜか区財政は“余裕たっぷり”、活用可能な土地も“たくさん”です。共産党は「お金も土地もあるのに特養ホームや認可保育園、障害者施設、公園などの増設が不十分」と決算に反対し、計画の具体化を求めました。

資料ばかりで読みにくく申し訳ありませんが、決算議会の質疑を通じ、余裕のある区財政や活用可能な用地が浮き彫りになりました。歳入では区民税が予算より23億円も増収。さらに不要額など補正等が加わり、決算では積立基金(区の貯金)が699億円に到達。用地も財源も十分にありますが判明しました。

品川区パブリックコメント実施中！意見提出方法は、10月1日付「広報しながわ」又は、区ホームページのメールフォームより。是非、ご参加ください。

お金 あります

区民税が予算より増えた理由を区は「一人あたりの給与が上がり、納税義務者数も増えたため」と説明。しかし庶民の暮らしは給与も年金も減っているが実感。他に要因があるのではないのでしょうか？

用地 あります

活用可能な用地は、売却予定の国有地が区内に2万7千㎡、学校跡地は2ヶ所などです。そこで「認可保育園や特養ホームなど区民要望の実現を区長期計画に示すべき」と提案。区は「新規施設の建設は抑制が基本」と説明。区民の願いにあまりに

も冷たい対応です。

特養ホームの増設を

特養ホームのさらなる増設は急務です。区は今後4年間に特養ホームを3ヶ所増設しますが、増えるベッド数は229床。この数は今年8月末、特養入所が52人の約半分です。そこで「今から増設計画の策定を」と提案。区は「3ヶ所の増設が終了後、行政ニーズを見極める」と答弁。具体的な計画を示すことはありませんでした。基金699億円の原資はズバリ区民の税金です。パブリックコメント締切は30日。区民要望に充てる長期計画の策定を求め、みんな意見をあげましょう。

なかつか亮

特養ホーム入所状況

584人申込み 入所不可452人

特養ホーム入所を今年2月末までに申し込み、8月末までに入所できた方、できなかった方の要介護別及び年齢別の入所状況です。

全体では584人の対象者に対し、入所は132人。つまり452人が入所できませんでした。

特養ホームの入所審査は、在宅介護期間・介護度・年齢などを総合的に点数化し、空いたベッド数に応じて総合評価が高い順に入所が決定する仕組みが基本。逆に、脳梗塞や怪我等で急に介護が必要になった場合、在宅介護期間が算定されず、特養ホームの入所が難しくなる問題が起きています。しかし、根本的にはベッド数が足りない事が一番の原因です。



	申込人数	入所数	入所できなかった人数
要介護5	87	22	65
要介護4	155	44	111
要介護3	174	48	126
要介護2	92	17	75
要介護1	76	1	75
合計	584	132	452

	申込人数	入所数	入所できなかった人数
100才以上	4	2	2
90才代	134	46	88
80才代	300	72	228
70才代	127	12	115
60才代以下	19	0	19
合計	584	132	452

暮らしも景気も財政も悪くする 消費税増税中止を！
消費税ではない「別の道」があります 日本共産党